

県議会議員はくいし恵子の



風だより

19. 2月議会報告ダイジェスト

発行者 はくいし恵子
事務所 松江市大輪町414-12
TEL/FAX 0852-23-0880
発行日 2019年3月1日



* はじめに

今期最後の議会となる2月議会が2月12日から3月1日の会期で開会されました。当初予算案の提出もありましたが、知事が替わるので普通は骨格予算のはずですが、地方創生の取り組みや早期の災害復旧の必要性から、通常どおりの予算案となっています。

さて2月議会での質問をご報告します。この度は「児童虐待対応体制について」他3点について一問一答で質問しました。

* 2月定例議会、一問一答質問

質問：児童虐待事案の対応体制について（健福部長）

1) 舟渡結愛ちゃん、栗原心愛ちゃんの事件から何を学ぶべきと考えるか。

転居時の引き継ぎの徹底、関係機関同士の連携のあり方、情報共有の重要性を感じた。基本の徹底も重要。

2) 肝心なときに対応できるよう関係機関の連携の場である「要保護児童対策協議会」（以下、要対協）メンバーの力を高めるため、2つの事件のケーススタディや恫喝する親対応のロールプレイなど実践的な研修が必要と思うが如何。

重要且つ有効と考える。県が主催する研修で計画する。また「要対協」の研修で取り入れられるよう助言する。

3) 児童虐待に関する教員の理解と知識、関係機関との連携の必要性を徹底すべきと考えるが如何。

危機管理の手引き、生徒指導担当教員研修等で虐待についての知識や関係機関等の連携を周知している。この度の事案を受けて県教委としても改めて徹底したい。

4) 罰則規定を盛り込んだ法改正も視野に入れるべきと考えるが、どうか。

親権との兼ね合いやプライバシー保護の問題など、児童相談所は難しい対応を迫られている。今回の事件後、政府でも懲戒権や体罰について検討がなされるという情報がある。国の動向を注視したい。

質問：人のいる学校図書館について

1) 来年度予算での減額が見送られたが理由を伺う。（総務部長）

市町村からの意見を踏まえ、時間をかけてしっかり議論を行う必要があると考え、

H32年度からの見直しに向け、継続検討とした。

- 2) 財政支援が減額されても教職員が異動しても、図書館活用教育が継続できるような十分な理解と体制作りについて所見を伺う。(教育長)

10市町が減額されたら全校配置等が難しくなると回答した。研修のさらなる工夫を考えていきたい。また優れた実践の共有の為好事例を紹介したり、研究指定校の選定を工夫するなどしていきたい。



質問：現場主義の県行政について

- 1) 福祉事務所が市町村に移管された後の30才以下の若い職員中、派遣などで生活保護行政の現場を知る職員はどのくらいいるか。(健福部長)

経験のある30歳以下の職員はいない。30代は5名いる。

- 2) 市町村の福祉事務所との人事交流の状況は。(同)

生活保護業務の研修目的でH24年度から27年度まで3名を派遣した。

- 3) 生活保護監査業務(以下、生保業務)が十分行えるよう現場経験者をどう養成するのか伺う。(同)

研修や課内研修で資質向上に努めている。4月からは職員交流制度で相互に派遣し合う予定。今後も職員交流を継続していく。

- 4) 生保業務に限らず、職員が現場に出てほしい。業務量にその余裕があるか。また、常に現場感覚を持つとする意識の醸成について所見を伺う。(知事)

管理職が限られた人員体制の中で業務量を可能な限り減らし、職員が現場に出やすい環境を作っていくことが必要。また職員の意識醸成も大変大事であり、引き続き努力をしていく。

今期最後の議会。統一地方選挙も間近に迫ってきました。今回は知事選で連合島根が「丸山たつや」候補を推薦していますので、自分の選挙に加えて知事選も頑張らねばなりません。また県職連合にとっては、言ってみれば自分の会社の社長を決める選挙でもありますから全力で応援・支援しなければ、と思います。地域を変えるのは「若者、よそ者、ばか者」と言われます。県出身でなくとも3年前に県の環



境生活部長、政策企画局長を3年間努められ、県内の事情に精通されていること、48歳と若いこと、何より国家公務員の職を投げ打って島根の為に働こうと志した「ばか者」の心意気に期待したいと思います。皆様のご支援をお願いします。「19. 2月議会ダイジェスト」に、ご意見などお寄せいただければ幸いです。

2019. 3. 1 はくいし恵子

HPは <http://www.hakuishi.sakura.ne.jp>

FBは「はくいし恵子」事務所 FBは「はくいし恵子とともに」で検索!